

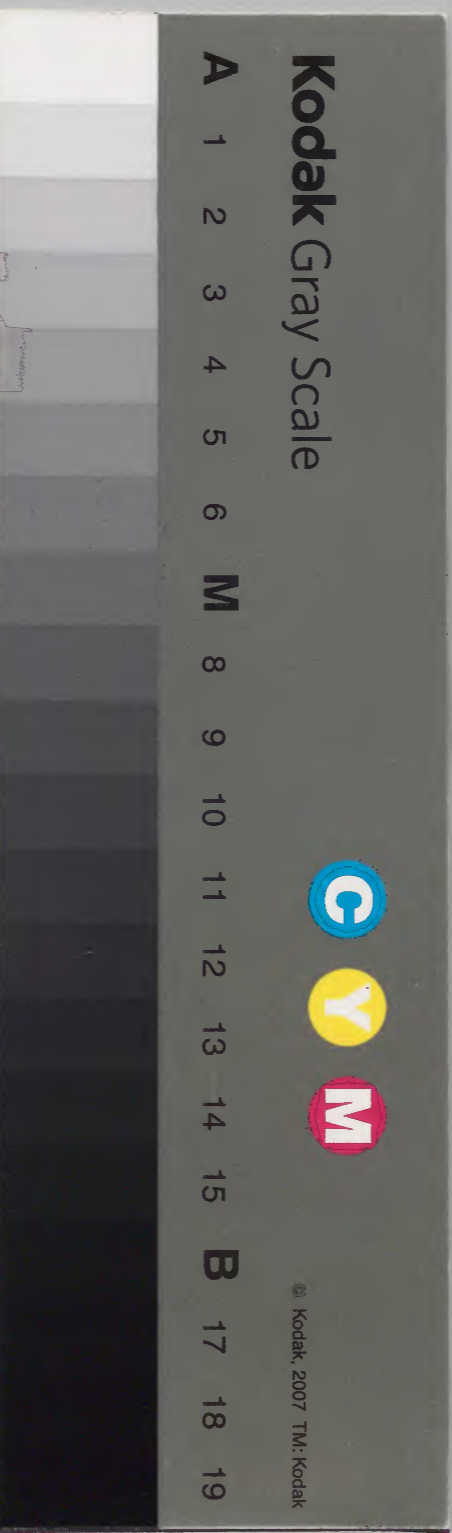


| | | | |
|------|---|---|---|
| 内閣文庫 | | | |
| 函 | 冊 | 架 | 類 |
| 二 | 一 | 三 | 八 |
| 一 | 函 | 冊 | 架 |
| 和書類 | | | |

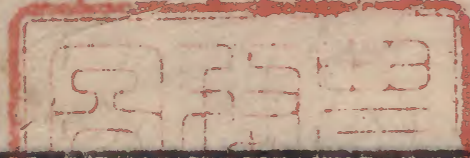
(二六)

| | | | |
|-----|---|---|---|
| 和書門 | | | |
| 冊 | 架 | 函 | 號 |
| 三 | 一 | 一 | 八 |
| 冊 | 架 | 函 | 號 |
| 和書門 | | | |

| | |
|------|---------|
| 内閣文庫 | |
| 番號 | 和 8486 |
| 冊數 | 3 (2) |
| 函號 | 210 6 |

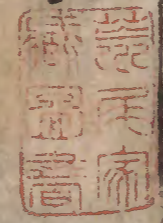


綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり
 原本の文字など不明瞭な箇所があり



頭書增補訓蒙圖彙卷之九
器用

注添ふ見へる

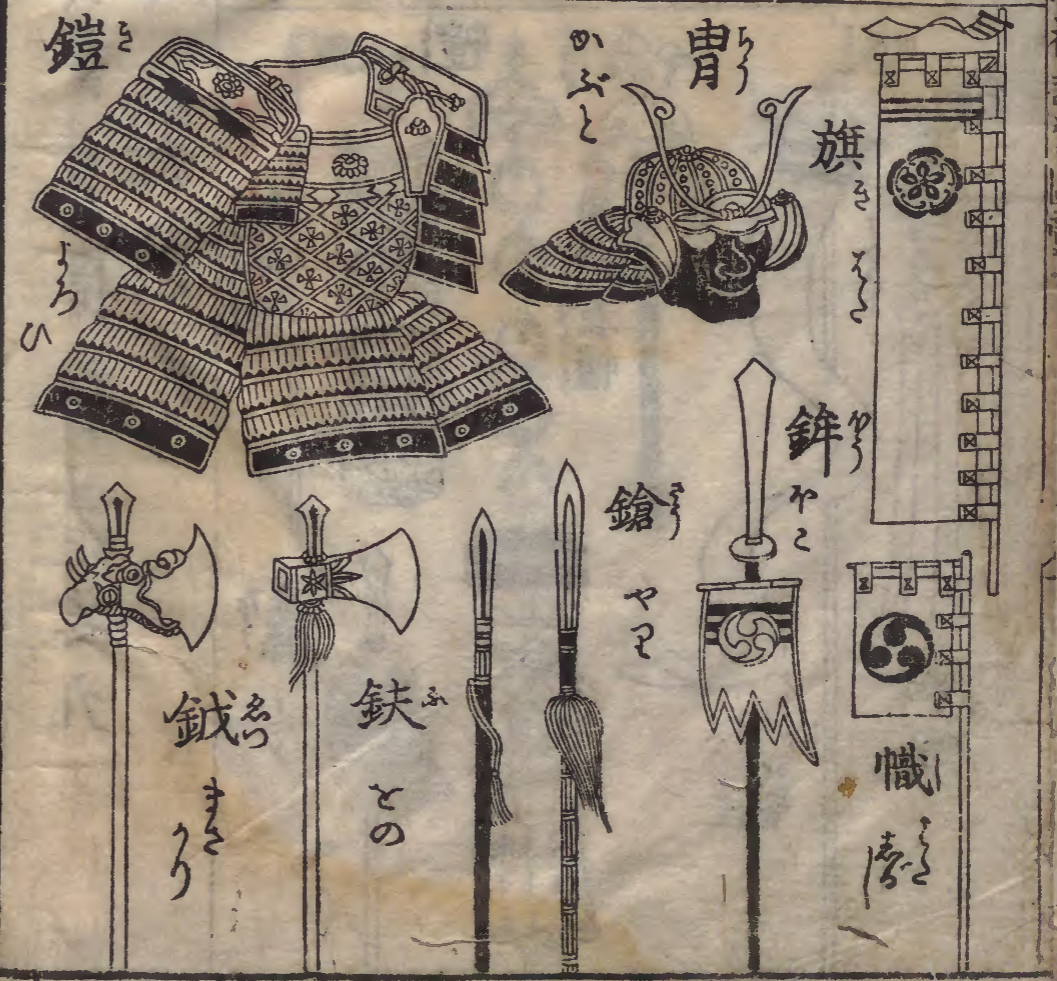


○幢ハ發あり旗筋の
 ちひかり楚に情とふ
 關の東西小ハ幢といふ
 ○銅雀幢ハ幢のから
 に雀と銅ゆくはるる
 ぬりば幢ゆくまのくとさ
 ぐらぐらとくまの雀のと
 くかりとる



頭書增補訓蒙圖彙卷之九

○素懸の皂綵小てつる
 蚩尤の首にやうり黄帝
 のとれたまををつる
 旗のこの惣名をり
 黄帝よりりる軍將
 のうらやあり幟い
 ぶらう梳いをりあり
 ○冑の兜鍪をりる黄帝
 こを成つるの板
 乃教少く何靴冑といふ
 ○鎧の金物の十三上座上
 卷矢返忘加の銀水香の
 銀再幣付等こり
 くとありる故小具足
 との
 ○鉾の長三丈五車に



さつりのあり形同
 ○鎗の應仁文明の比より
 つる唐少くは黄
 帝蚩尤のくひの時始
 ○鉞の斧の大きりのあり
 重さ八斤あり柯大あり
 ○刀の黄帝首山の銅を
 きて鑄て刀とを
 ○短刀の能太知今のつ
 ごとあり
 ○楯の撰本樟本を分
 りつるゆりのつさ四五
 寸より二尺の内が長三
 五尺盾于楯牌並同
 ○柄の劔頭ありはつとつ
 鎗長刀にてはとつあり



貞言書部用武家圖卷之九

釋日

○鐔の柄の底の銃多々依

○鐵の柄の底に平なる依

○戈の双なる枝のて戟と

一單枝と戈とのみ

○戟の友辺に之に依るに

長さ六寸中の又長さを

およその又柄をまた

亦長四寸をひりさす

○劔の葛天盧の山とのみ

て金とを虫たうけ

劔とつるを劔の

めあり

○鞘の鞘も遣も書

カ室あり釋護とい

○鐔の劔鼻入のさ

の下にわつるに

鏑同

○櫛の把柄同

形切羽反角裏

○矢の年夷ら

笠前同矢の

笠竹幹

○鐵の鐔根等の

そのかり鴈

目等

○鞞の箭

箭と入る

總と付

○平



劔

鞘

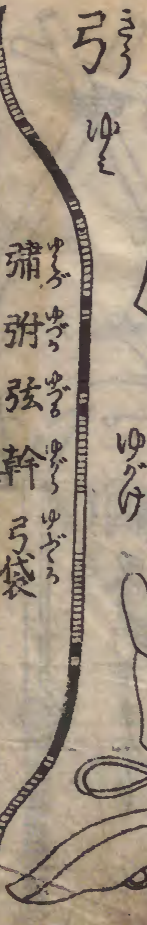
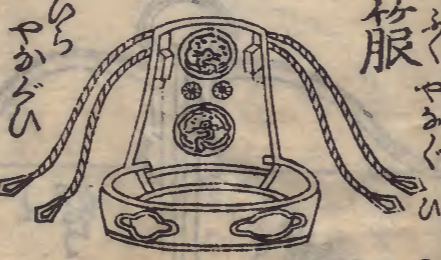


矢



籠

的



弓

蒲

弦

幹

弓袋

銃

鞞

的

籠

鞍

鞞

的

籠

鞍

鞞

的

籠

鞍

鞞

的

籠

鞍

鞞

的

籠

鞍

鞞

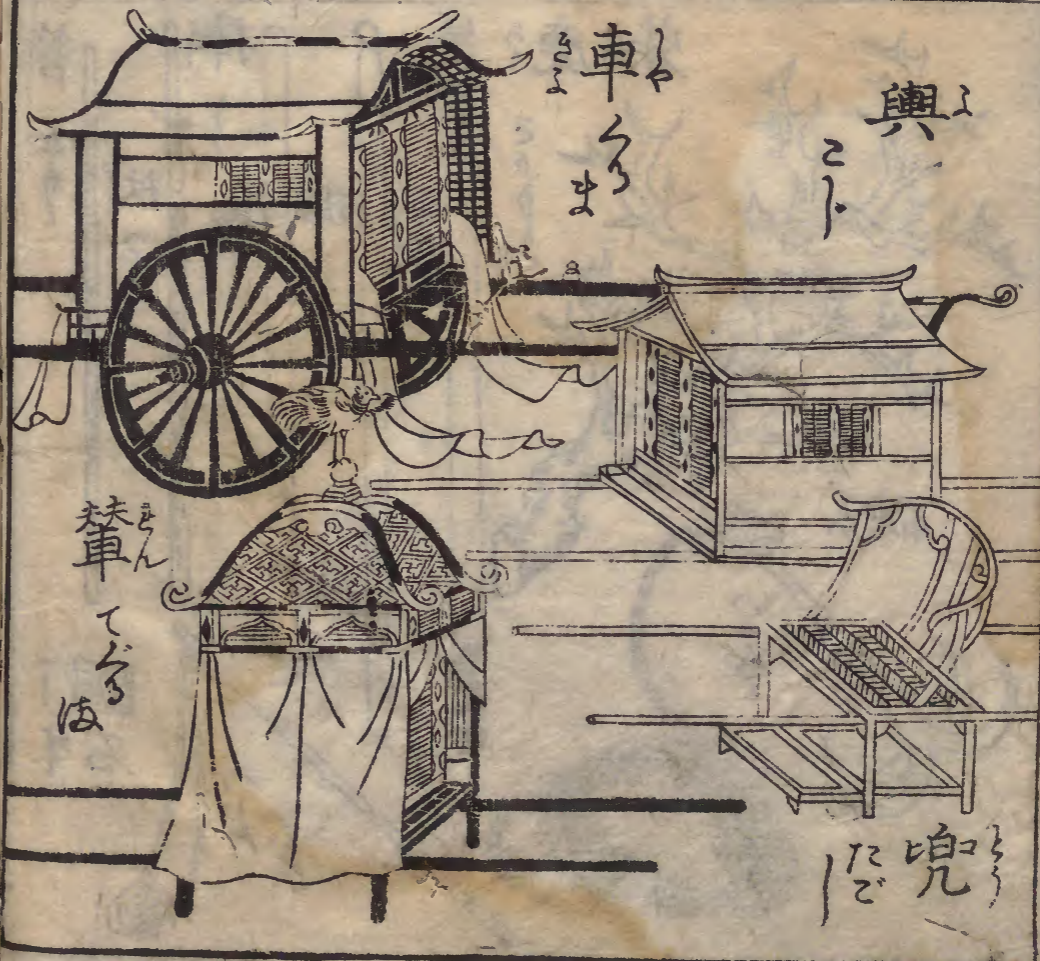
的

籠

鞍

腰帶

○鞆馬の頭瓜まじり飾
 多り又絡頭とも書べし
 ○鞭策策同又櫛とも書べし馬のむらあり
 ○韁手綱多り口にはわると轆といふ八尺又九尺二三寸のものあり
 ○腰背の鎧のちこにきり
 ○障泥の鞍のふりあり轡
 ○鞆同熊鹿の皮をて作る
 ○鉗枷とも小罪人と禁獄と具措控とて
 ○三道具といふ
 ○柄へるびり多り足械とも



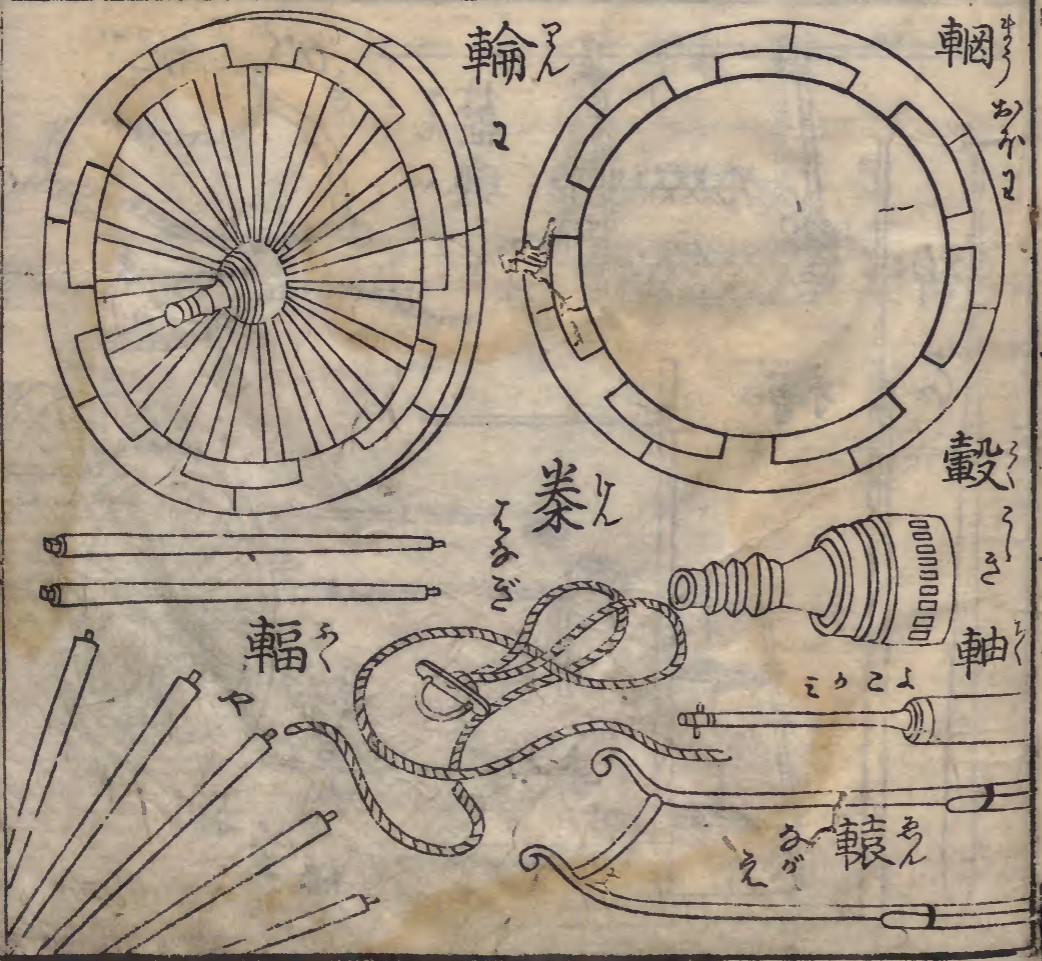
輿

車

輦

兜

○發賣の西漢といふ別
 つうりていふ南蛮より房
 西といふもの日本に献じ
 ○管のまじり多り杖といふ
 かん
 ○棒棍も棒あり
 五木杖といふ切本棒と
 ○飄石といふつんといふ
 又碎塔とも書べし
 ○鹿砦へ棘木あり垣う
 うて人馬のわゆといふ
 ○碇舟の鎮じり石あり
 といふ船同いふあり



輞

輪

轆

碆

軸

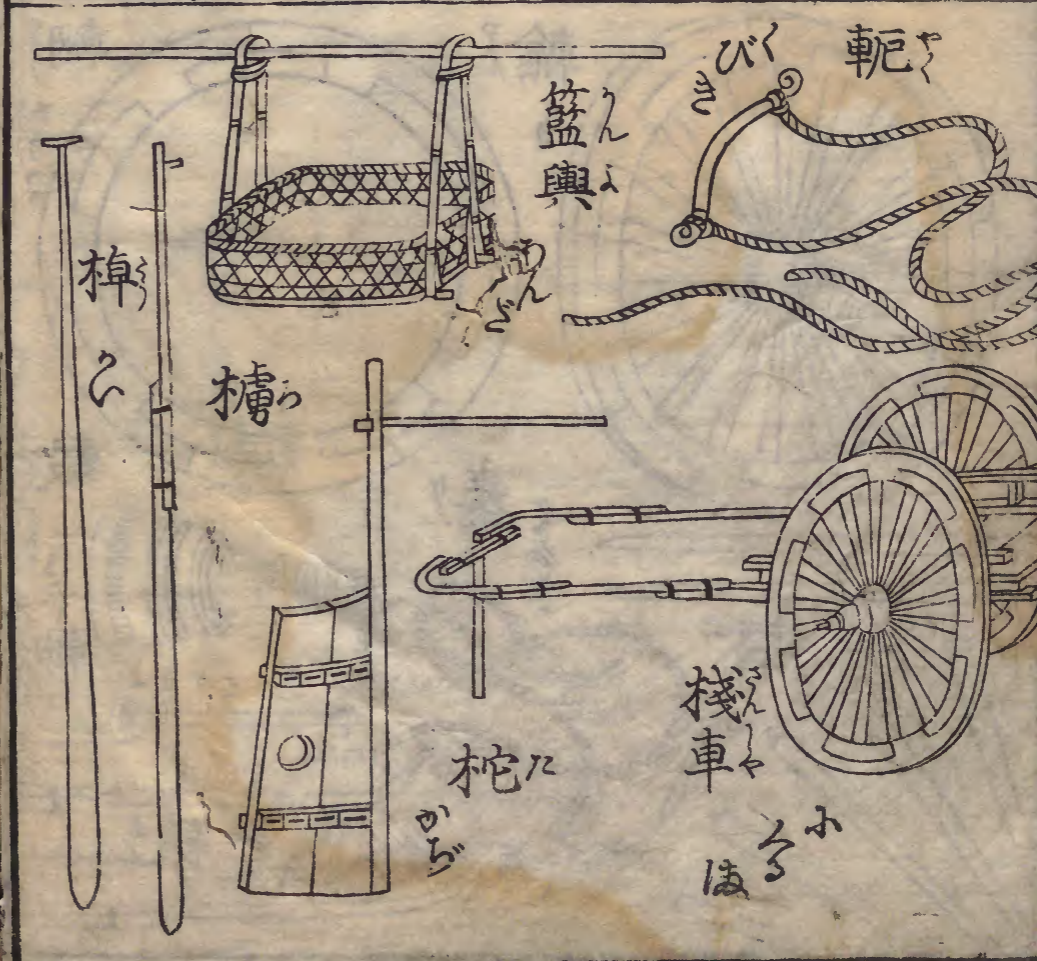
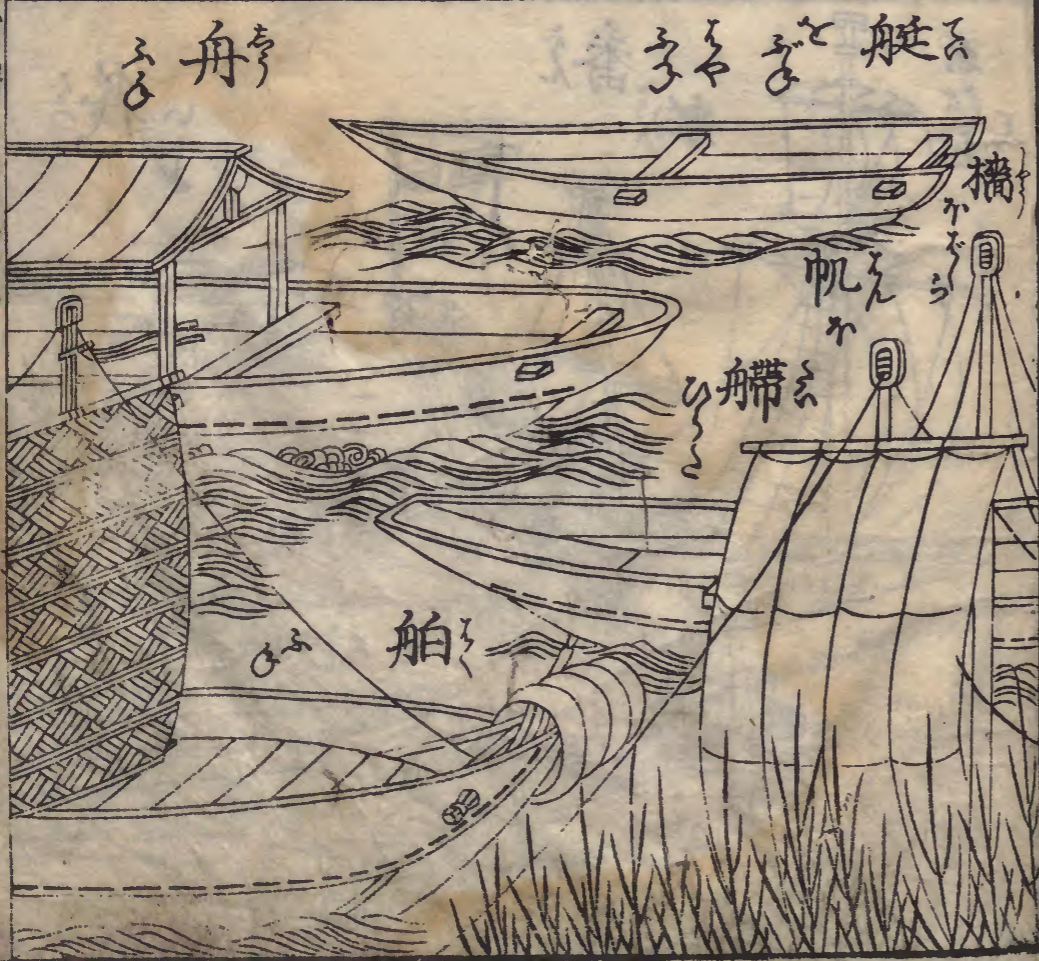
輻

轆

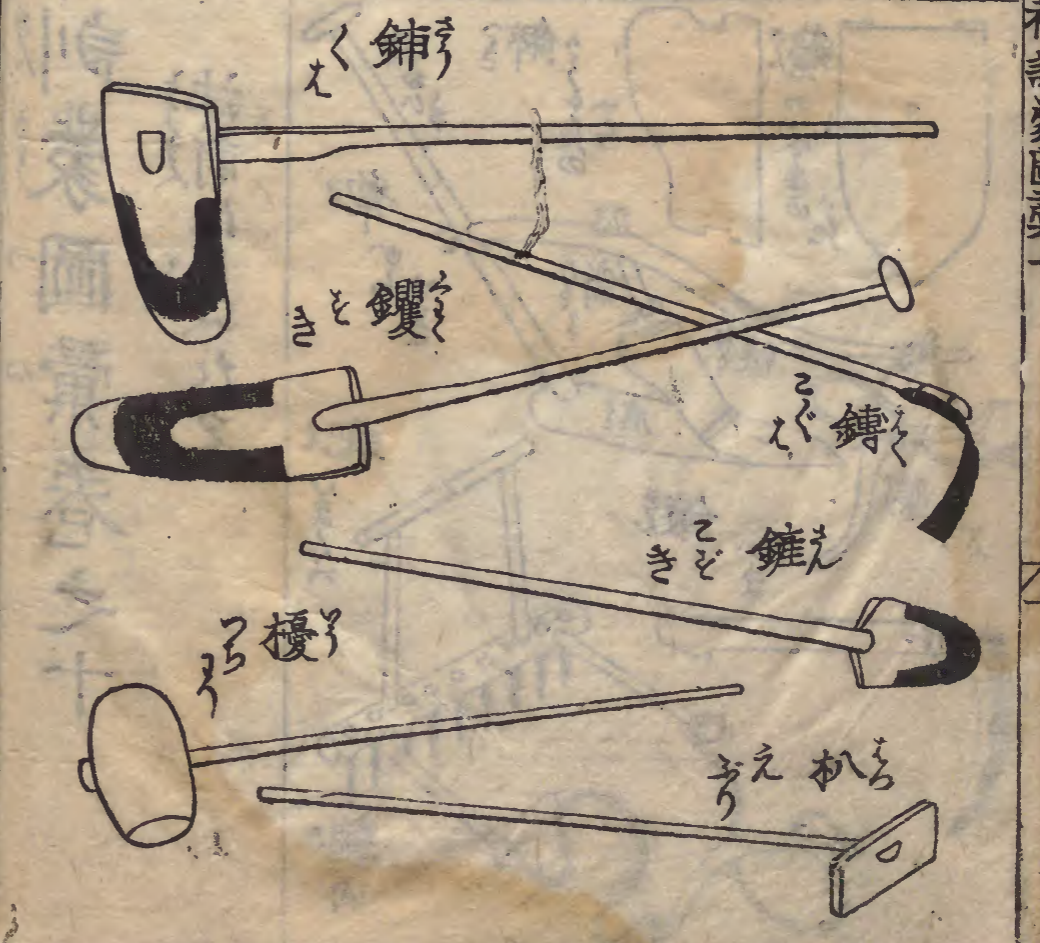
貞享四年南川大田...

○輶の車の輪外の心とて
 かり大輪より轆牙と云
 ○輪車輪舌の聖人轉
 蓬と見て車と云々
 ○轂の輻の添和轂口の館
 とい釘といふ
 ○軸の車の輪とものも乃
 かと轆と云ふあり
 ○輶の車の添れ曲るる本と
 とい輶同
 ○秦の牛の鼻とつらぐ
 ののり奉養並同
 ○輻の轂小はく三十の本と
 ○輶の年の頭ふらふあり
 ○輶の衡多しといふ同
 ○棧車今といふはあり

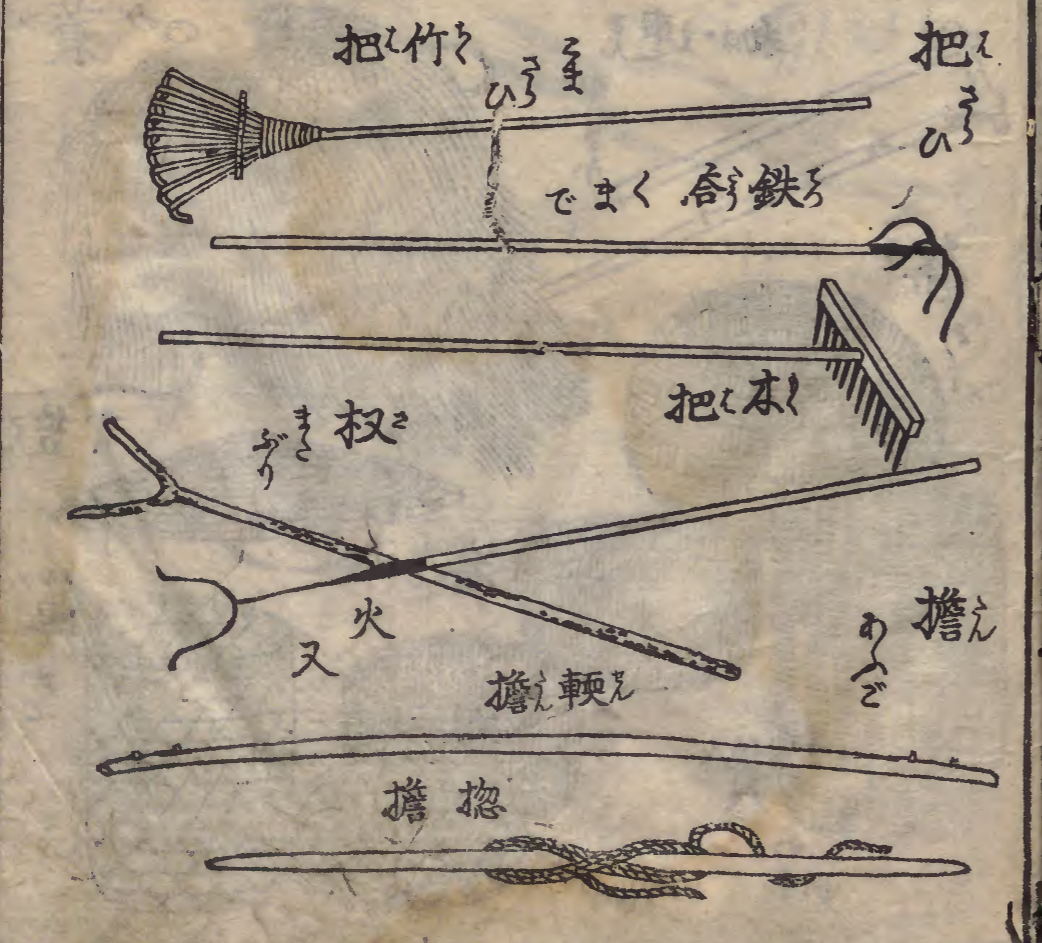
○輶の反り
 ○車以吳の牛と駕
 一馬の馬と駕と今
 圖とて不日卒の五猪
 車から天子女御を乗
 せりといふはあり
 ○輶の天子のりより御
 輿より御輿も王輿と
 といふ又鳳輿もといふ
 ○輿の輿より肩よりを
 かくと肩輿といふはあり
 わらわら竹輿といふ今
 といふはあり
 ○兜のひびかりかると兜橋
 とも腰輿もといふ和尚上人
 國師禪師の輿也



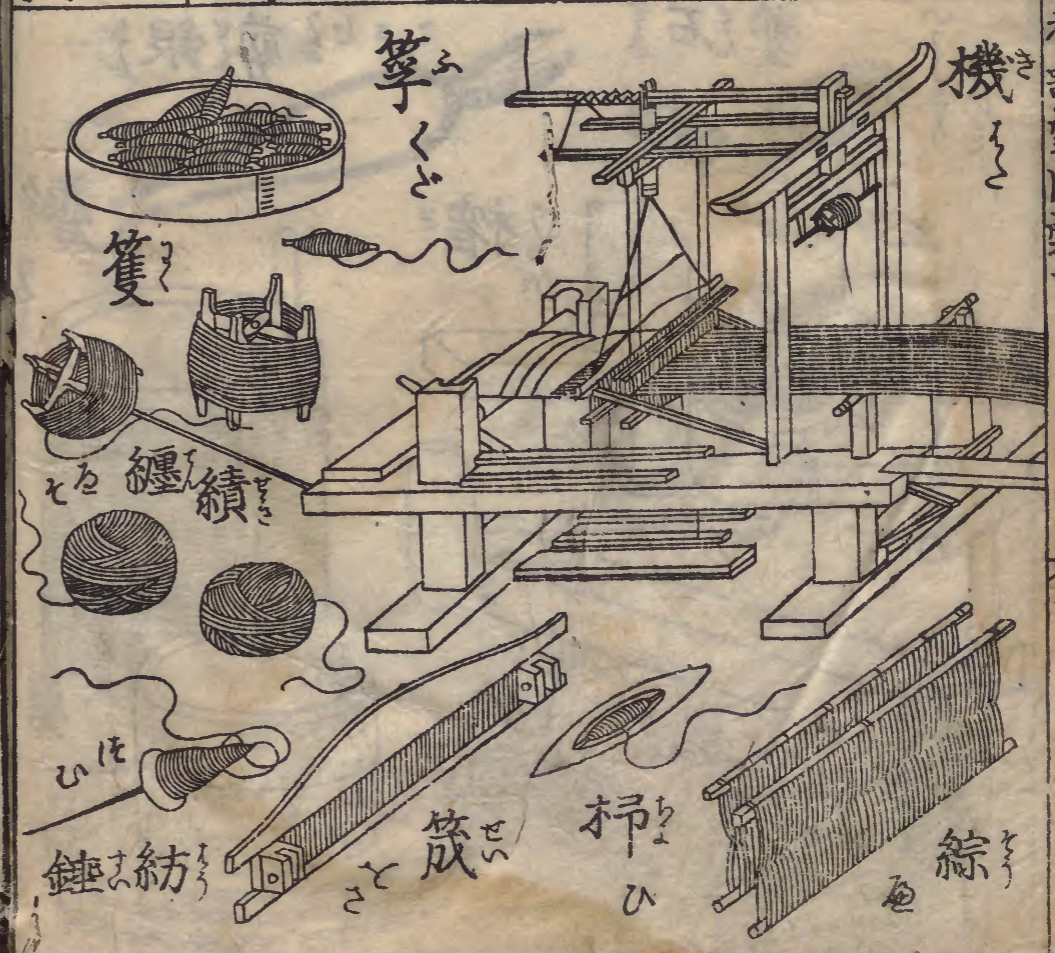
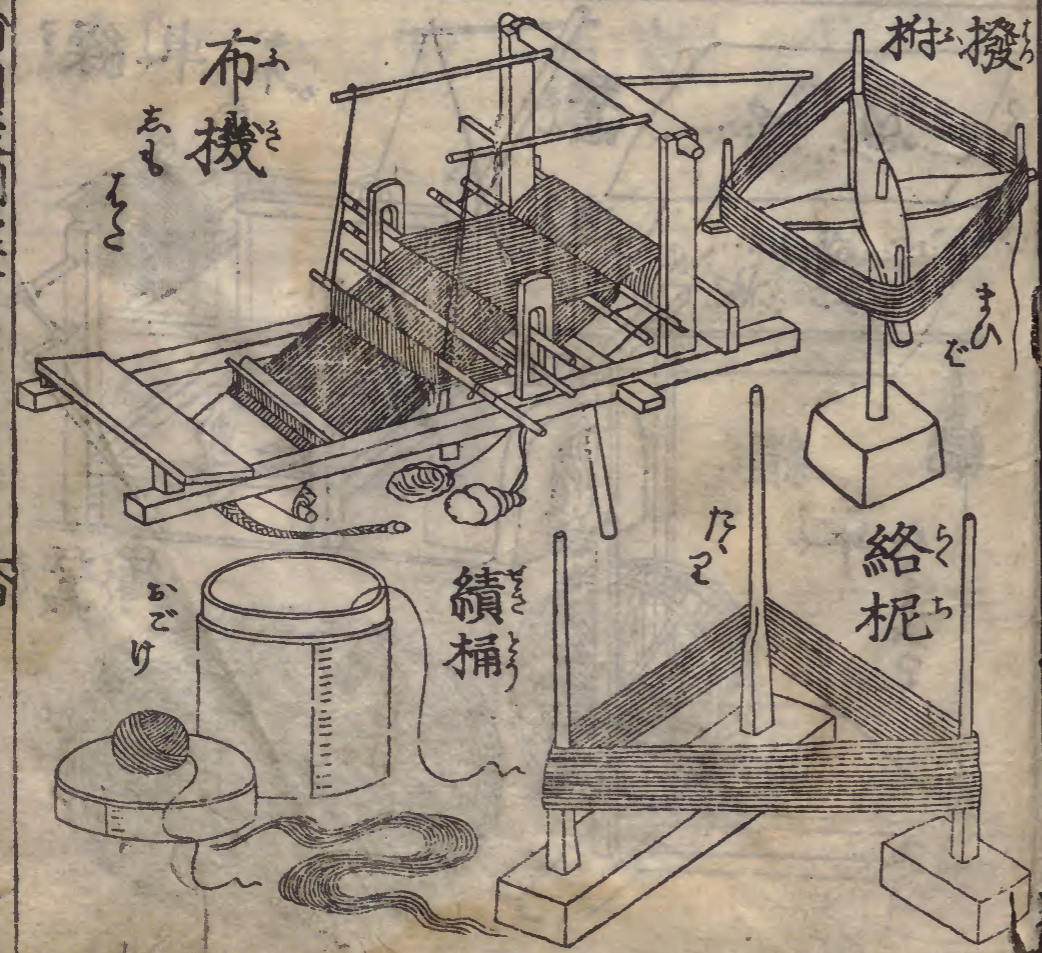
○鎌のかま 鉄かま
 新月 以磨鎌と杜甫
 が詩ふもつるさるあり
 ○鋪の鉄釜 かり
 南函 整鉄 多ひ
 に同ト
 ○鑿の大鉏 かり
 農具の 黃帝 あり
 洗くろ 始て 民ふかり
 て 田地 とうろ あり
 鑿 鑿 あり 同
 ○鑄のこくもかり



ここのせまた 田地の
 とける 具かり
 ○鍬のやとり あり
 杓とこくもかり 杓
 鍬のたごひかり
 ○擾のつらり あり
 獲堀 槌 あり 同
 ○擾の塊 とうろ あり
 回を摩器 かり
 ○把の田具 あり 麥 瓜
 かすし器 あり
 ひかりを本にてつる

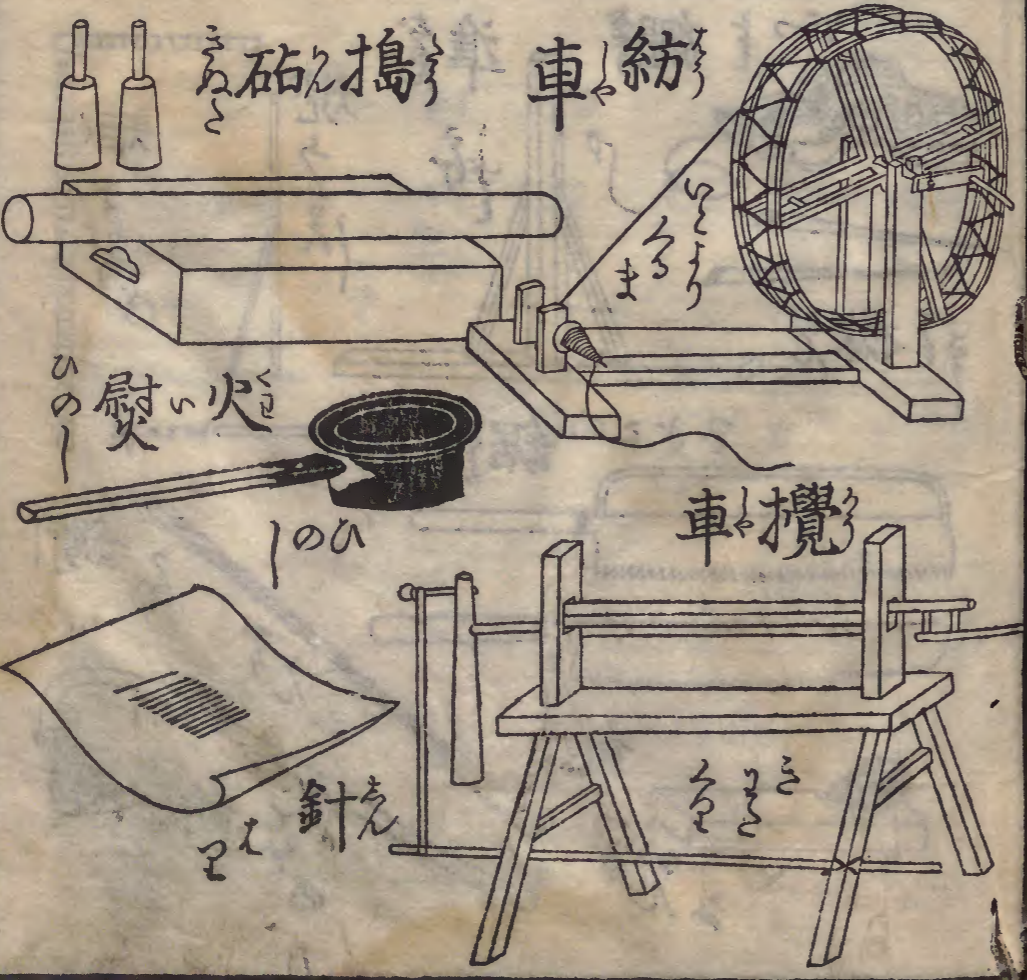


○ 銀剪ぎんせんのはりまり俗に
 ○ 榨くわの醃と同し酒又の油油
 ○ 石鑿の石ときるのまり
 石匠のこれとり
 ○ 碓うすの密儀杵白と制と後の
 世小巧と多く力と借て碓と
 とふ利十倍と
 ○ 機はりまり織り経
 とりのものと膝とひ緯と
 をりのものの瓜杵とり入榎
 即機機機
 ○ 綜の機とりるをりまり
 細糸も書べし
 ○ 杵ひかり梭同機と織
 とり緯とりのまり
 ○ 篋のとまり紐梳同
 篋框の今のいかさまり
 ○ 篋の筥同椀同
 ○ 篋の柄と柀とり又柀
 銅のひ小同
 ○ 績纏のまりとりまりて
 丸くすたれらが筋のこと
 くかららと名つく
 ○ 紡錘のほひかりスの柀
 とり瓦とり書べし
 ○ 撥拵のまりのまり柀
 のまり蟠車とり柀車

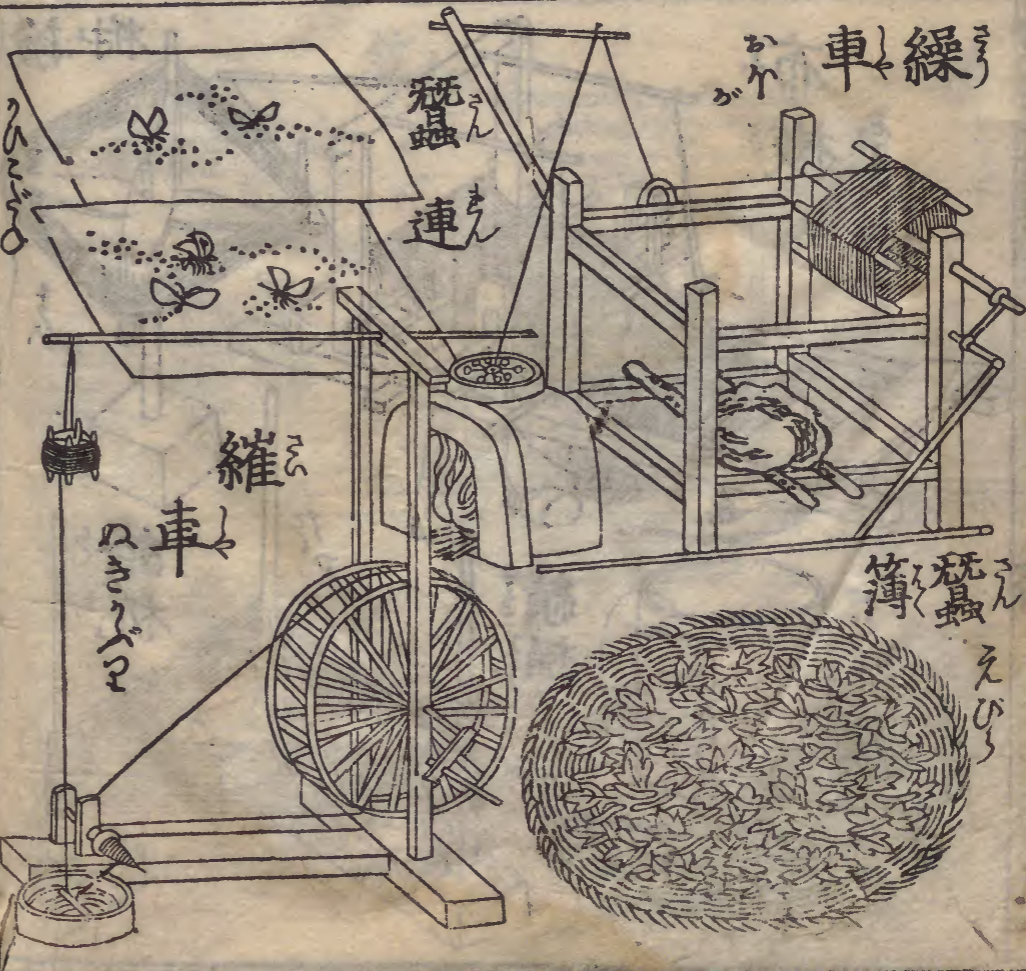


頂書目補川袋圖集十

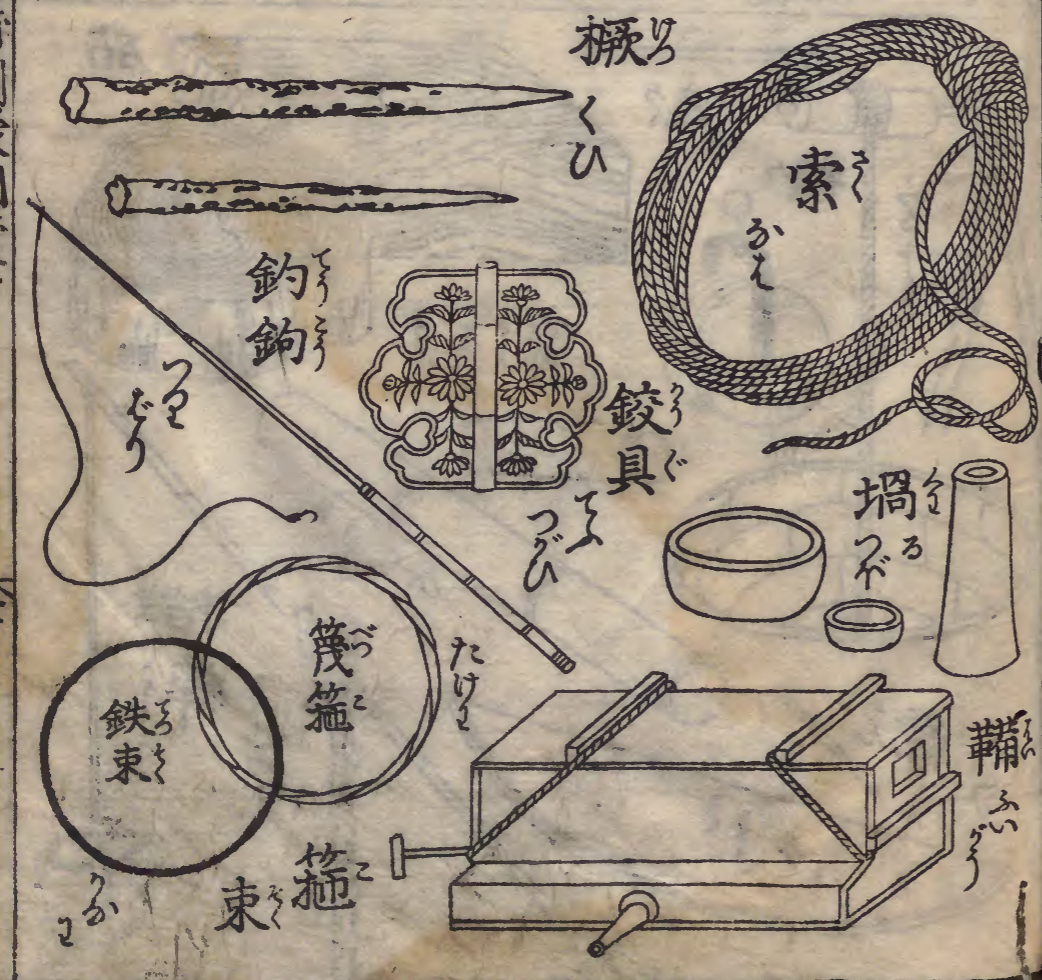
○織車ハ糸ハ管子小つる
 具アリ緯車同
 ○紡車ハ糸よりとるは
 綿筒と俗ハわめといふ
 ○攪車ハ木綿とより
 核と攪とる車ナリ
 ○搗砧ハきん巻とらと
 いハ卧杵ハさつらあり
 ○火慰ハ火とらとらと
 を慰あり 鈷鈷鈷鈷か
 らハ小同
 ○針物ハ糸と病と治する
 と同く通ト用ハ醫者鍼
 とらと病と治とらと人
 をいす 糸と病とらと視
 儀聴儀のギ
 頁書首補川文圖書



○絡柅ハ糸とらと臺ナリ
 絡柅ハ糸とらと臺ナリ
 ○布機ハ布とらとらと
 機ナリとらとらと
 ○績桶ハとかけありのたま
 までおけといハ茶釜ハ
 ちやまがといハたひあり
 ○繰車ハ蚕とふて糸とらと
 具アリ緯車同又繰車と
 も書ナリ
 ○蠶連ハ蚕種紙ナリ
 こころといふ
 ○蠶薄ハ蚕とらとらと具
 ナリと筒同トといふ



○鐵の壁とゆる具あり釘
 朽巧同くこてあり
 ○鍍の鉄槌あり
 ○鉄のりんとく火鉗火鉗同
 ○鑽の鉄砧あり鉄鋸鉄鉗
 同くありとあり
 ○削刀のホカケリ
 ○裁刀圖のじりありとあり
 たかた
 ○鑿の力分あり斧の刃ひ
 ろとあり
 ○斧の神農始くつうあり
 本瓜ふる具あり柯との柄
 ○釘のさざり物まうと
 ともありとありのあり
 ○楔の木釘あり又栓といふ
 の音とあり
 ○索の大あひ糸索といふ小
 かん糸繩といふ
 ○浮漚釘のののさざり
 俗のりんとく環用あり
 砲頭丁の俗といふ
 ○塙のつがやあり甘塙とも云
 壺同型模塑の並ふといふ
 ○鞆の囊篋とも書べし踏
 鞆のたけら
 ○概采段あり杵かり栗
 棒ありひふ同くわがわ
 ○鉸具の蝶つらひ鑲鑲同
 ○釣鉤のつらひあり釣
 竿のつらひあり釣線つらひ
 餌の糸たけりあり



○斧の神農始くつうあり
 本瓜ふる具あり柯との柄
 ○釘のさざり物まうと
 ともありとありのあり
 ○楔の木釘あり又栓といふ
 の音とあり
 ○索の大あひ糸索といふ小
 かん糸繩といふ
 ○浮漚釘のののさざり
 俗のりんとく環用あり
 砲頭丁の俗といふ
 ○塙のつがやあり甘塙とも云
 壺同型模塑の並ふといふ
 ○鞆の囊篋とも書べし踏
 鞆のたけら
 ○概采段あり杵かり栗
 棒ありひふ同くわがわ
 ○鉸具の蝶つらひ鑲鑲同
 ○釣鉤のつらひあり釣
 竿のつらひあり釣線つらひ
 餌の糸たけりあり



家藏堂や瓜ひくろく
ろくろ

○趕網かきまきとも小魚と
とも具たぐいあり俗ざくふたのとも

○罾こぎいともともわとも
方張かたぢともひくともひのわ

穀品こくひんあり此圖こゝの四でとも
わとも

○網あみのわともろ鹿か氏の
つらともわの罾こぎ同

俗ざくふともわともろわとも
りとも

○羅らのともわともろ世氏
らとも羅らともろ鳥とり罾こぎ

絹糸きぬいと又麻糸あしいとはともろ世
かともろともろともろ

○罾こぎのともろともろ瓜うりつか
いで外のともろともろひま

らともろともろ罾こぎともろ
關せき煤すす鳥とり同

○雀すずめ竿かんの網あみ竿かん同とも
ともろともろ網あみともろ

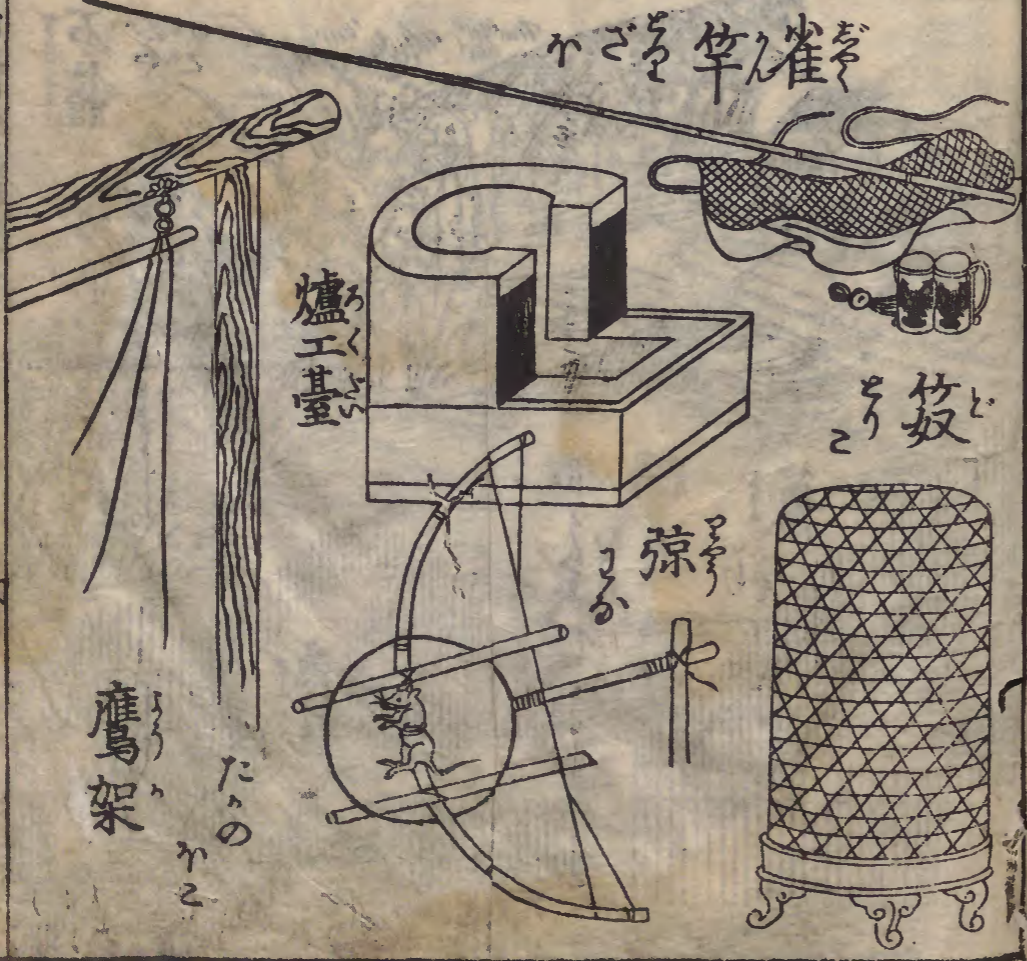
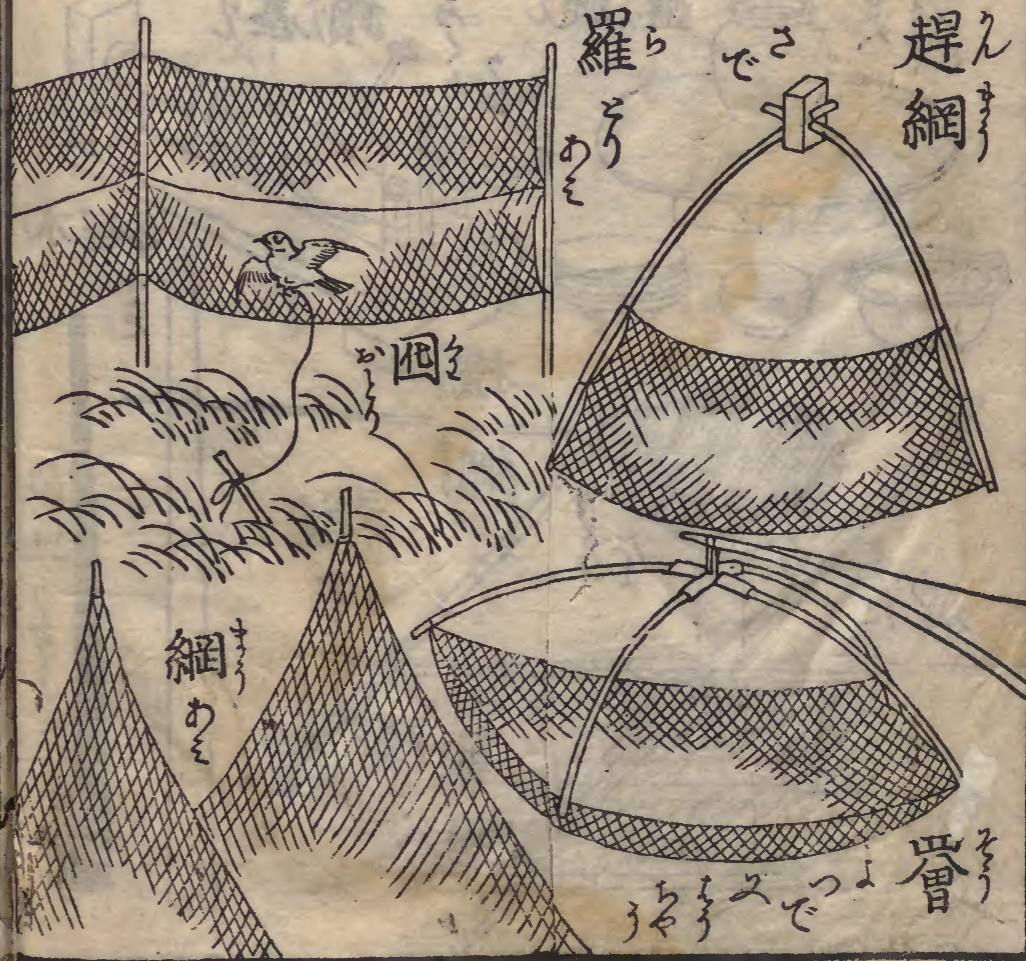
かとも
○竹たけのともろかともろ庭にわ籠かご

丸籠まるかごともろわとも
○爐ろ工く臺だいの金かね汰たのく夫つま

ともろ臺だいあり俗ざくふともろ
金かねのともろ

○鷹たか架かの鷹たかのともろか
本もとあり

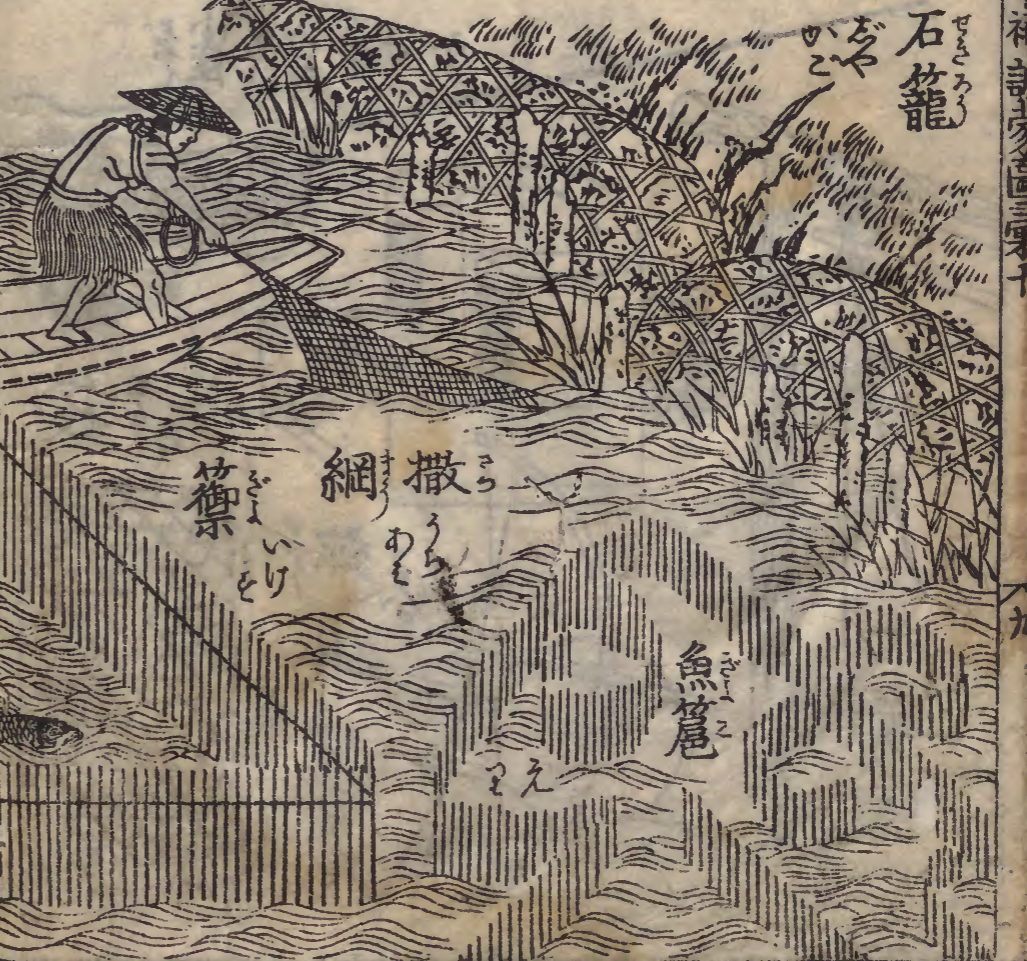
○涼すずかの罾こぎともろふともろけ
狐きつねのともろともろのとも



○翻車ハ龍骨車ナリ
 田でりのと田地ふみ
 しろ具ありひく水の
 とおん田入るふ用
 ○筒車ハくぐるまを
 淀河そのくあにあり
 こもひく水のあき
 き田入るのありふあか
 どのりく本穀とあひん
 くの具あり
 ○水見ハひくろ水と
 ころのあり連筒同規
 ころのあり又槽につる
 ○案山子ハあかきり
 へんつうて田の中
 きてあけのてお



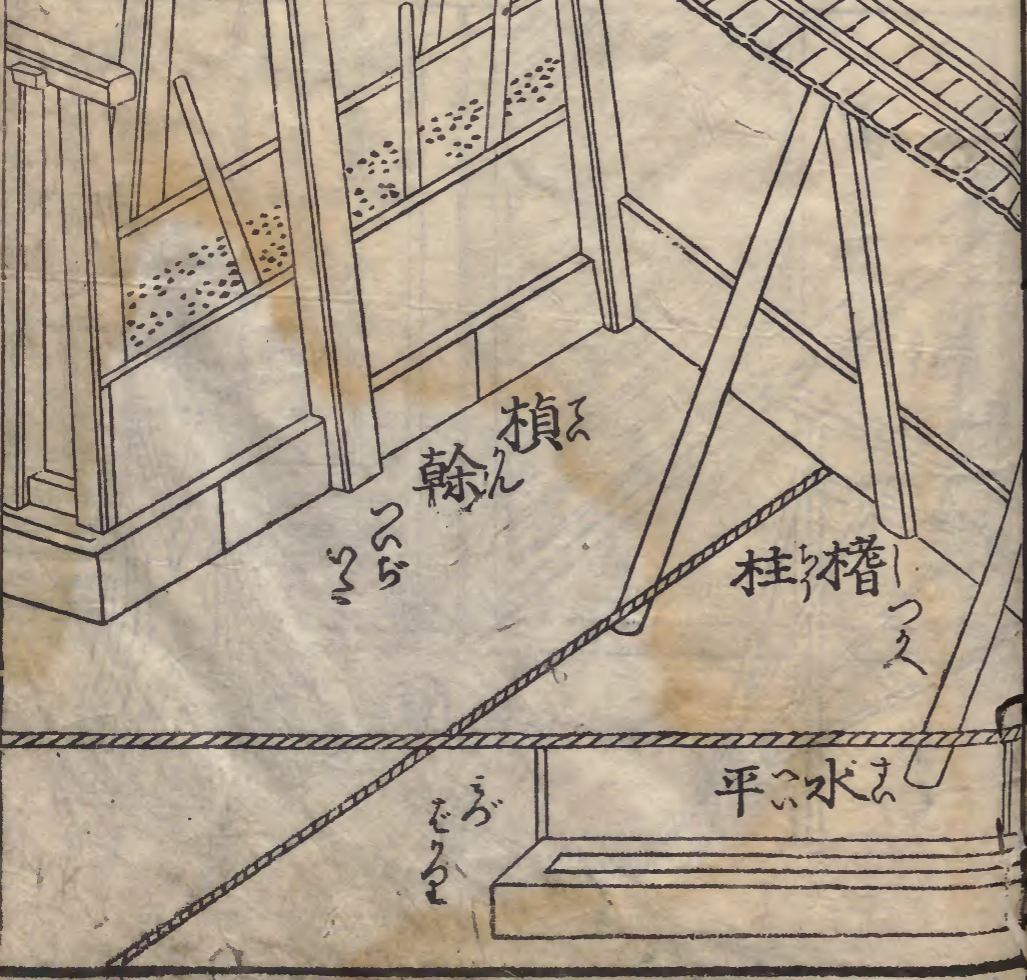
階井ハくわをかり
 ○石籠ハ水ふせれたる
 竹の補中石と
 入て堤の水とひくり
 即牛ともい俗よりさ
 ぐり
 ○撒網ハ魚とさるわさ
 罾單 同俗よりちあ
 又さうわさ
 ○魚笥ハ海中ゆく魚と
 ころ竹あり俗よりさ
 魚笥なると摺りけ
 ○竹御ハ池のうへ川
 竹をさあて魚と
 かりのあり竹御同



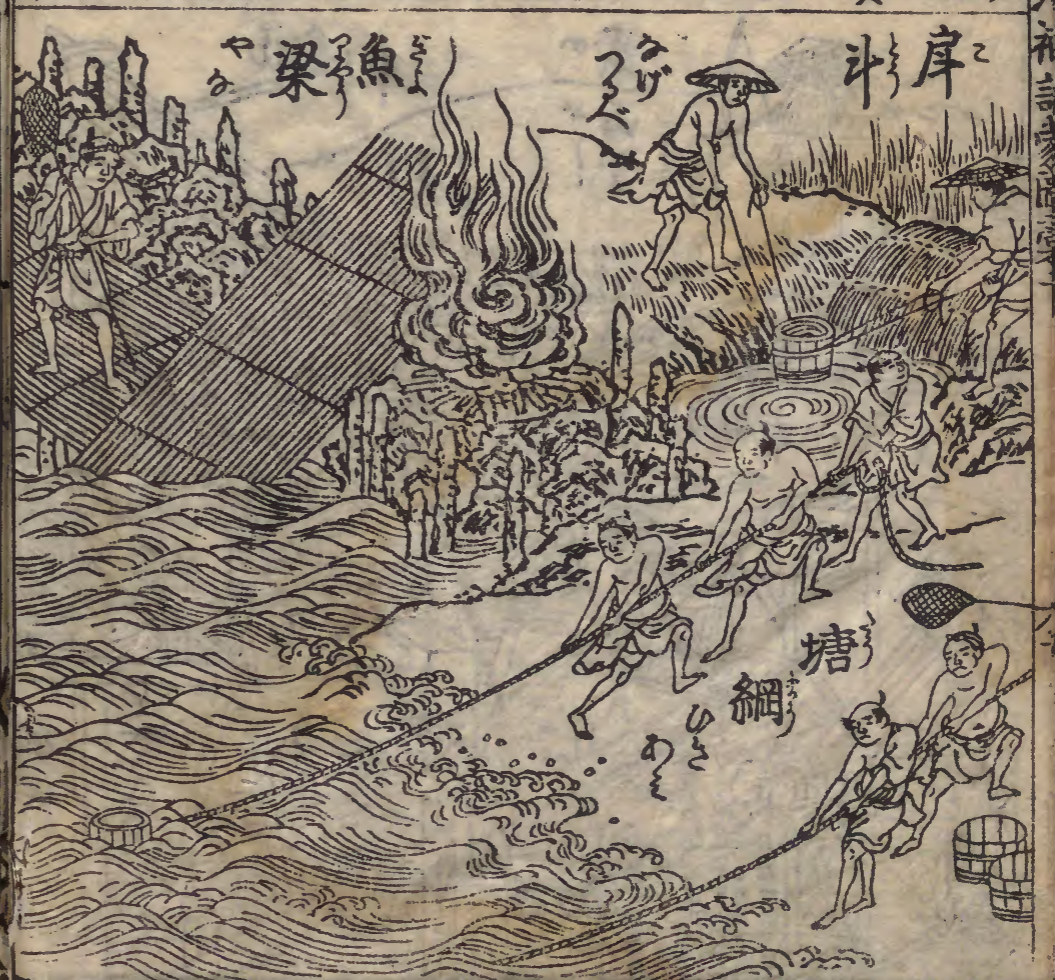
類聚書卷之六

類聚書卷之六

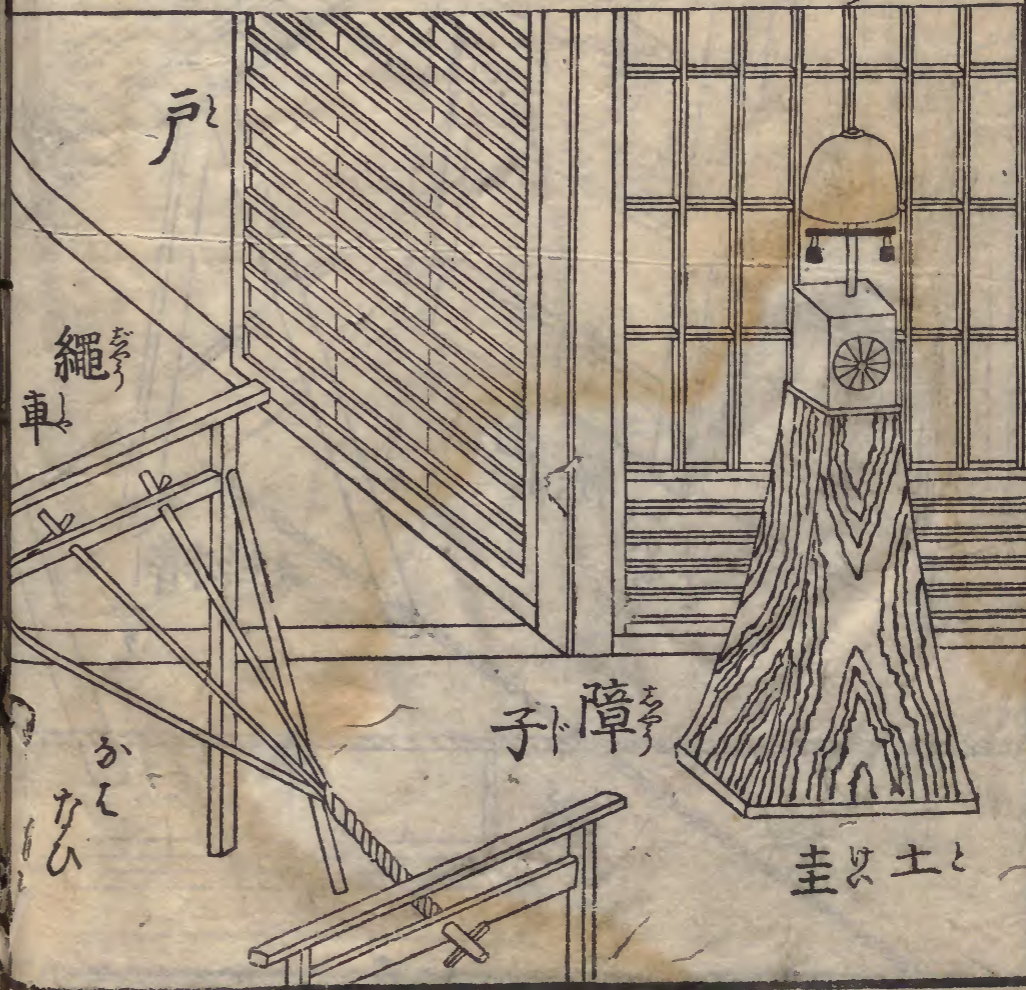
〇障子の障の字を記
 こしむ風俗を記す
 のまらかなる子の付き
 わる障子腰障子あり
 〇土圭の圖景とも時計
 書あり昼夜十二時以
 んらあふのあり
 〇水水平の記ありあり
 あかふ記ありありあり
 んらあふのあり番匠ふ
 りらあふ具かなる度筆
 同ド
 〇土圭の圖景とも時計
 書あり昼夜十二時以
 んらあふのあり
 〇水水平の記ありあり
 あかふ記ありありあり
 んらあふのあり番匠ふ
 りらあふ具かなる度筆
 同ド



〇障子の障の字を記
 こしむ風俗を記す
 のまらかなる子の付き
 わる障子腰障子あり
 〇土圭の圖景とも時計
 書あり昼夜十二時以
 んらあふのあり
 〇水水平の記ありあり
 あかふ記ありありあり
 んらあふのあり番匠ふ
 りらあふ具かなる度筆
 同ド
 〇土圭の圖景とも時計
 書あり昼夜十二時以
 んらあふのあり
 〇水水平の記ありあり
 あかふ記ありありあり
 んらあふのあり番匠ふ
 りらあふ具かなる度筆
 同ド



○戸のひびく死戸を戸
 ○戸妻戸あり秋戸あり
 ○戸のひびく死戸を戸
 ○細車はろく何繩幕の
 繩かこびゆる車あり

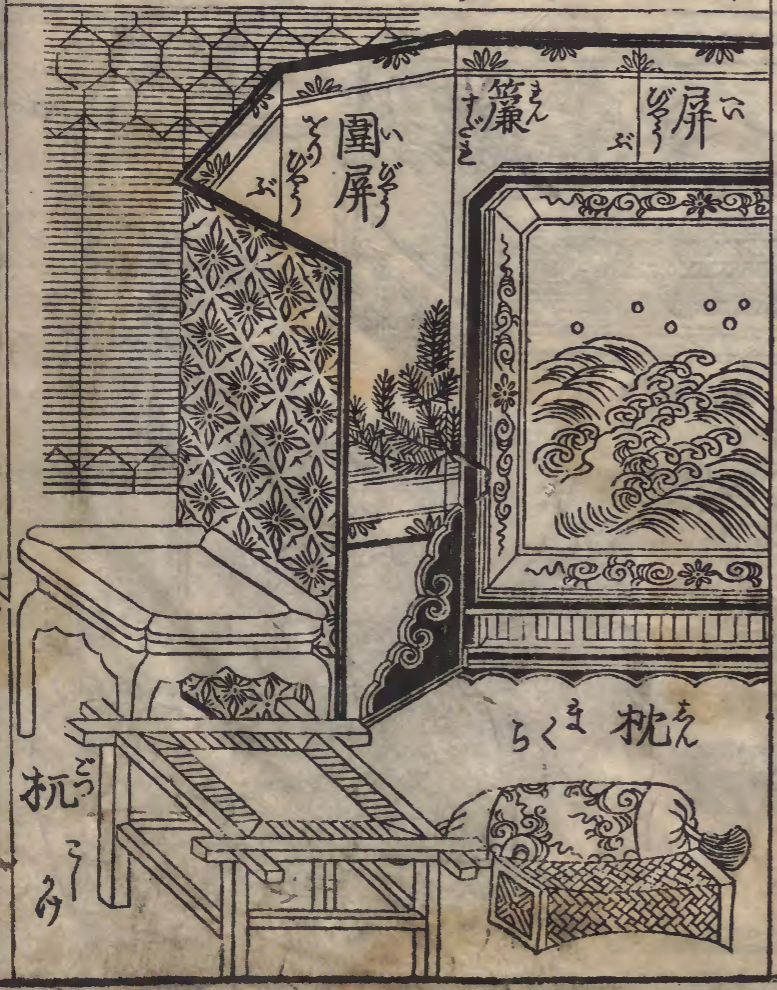


頭書増補訓蒙圖彙卷之十一

器用

註前ふりてり

○屏ハ屏風かくと畫屏
 繡屏金屏石屏硯屏
 格子屏わり又圍屏と云
 ○簾はとれ箔同翠
 簾みとまり簾鈎はつ
 ○枕ハ珊瑚の枕瑪瑙の
 枕ハ石の枕枕中
 ○杭子ハろくけり
 ○椅子ハ方椅あり圓椅
 あり交椅あり椅踏ハ今



頁書增補訓蒙圖彙卷之十一

又兼足あり

○席のひろがるを筵同
蒲席莞席竹席あり

○牀の榻よりゆりともごと
ともふ八尺と牀とつゝ
と安どるおきり牀几

○匣いんざうあり柄の
ふちのいづるあり柄の
すむその内小挿ひつゝ
半挿とつゝ

○盥へきしひちり盥盤
盥盆同又類につゝ盥盤
のみたし角盤つゝのみ

○墩の腰かけあり坐墩も
つゝ又草墩とつゝあり
鏡の天照太神のいづる

つゝおのふとゆり今心
のふとつゝ神鏡あり鏡
の柄付のいづる圓鏡つゝのい

鏡奩のいづるあり
○鏡臺の鏡架もつゝ又
粧臺もつゝあり今按どる

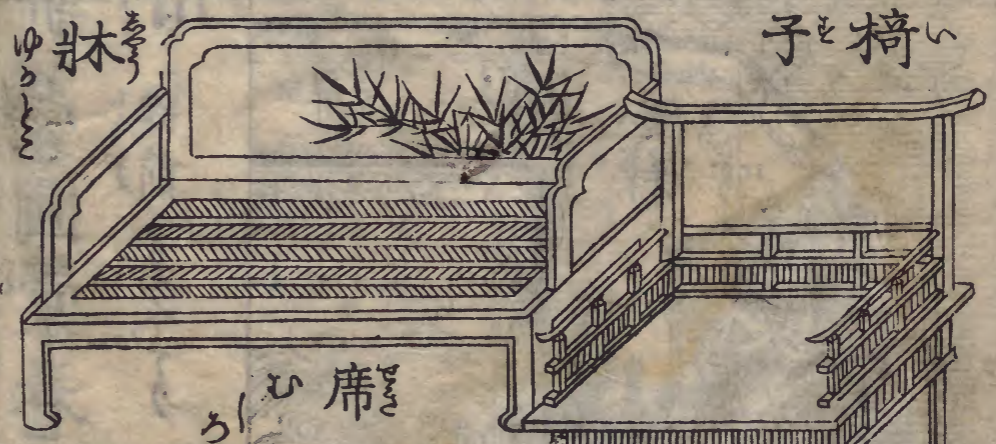
のいづるあり
○粉匣いづるありあり

○前か子削刀つゝびり同今
按どるふ夾前摺前を

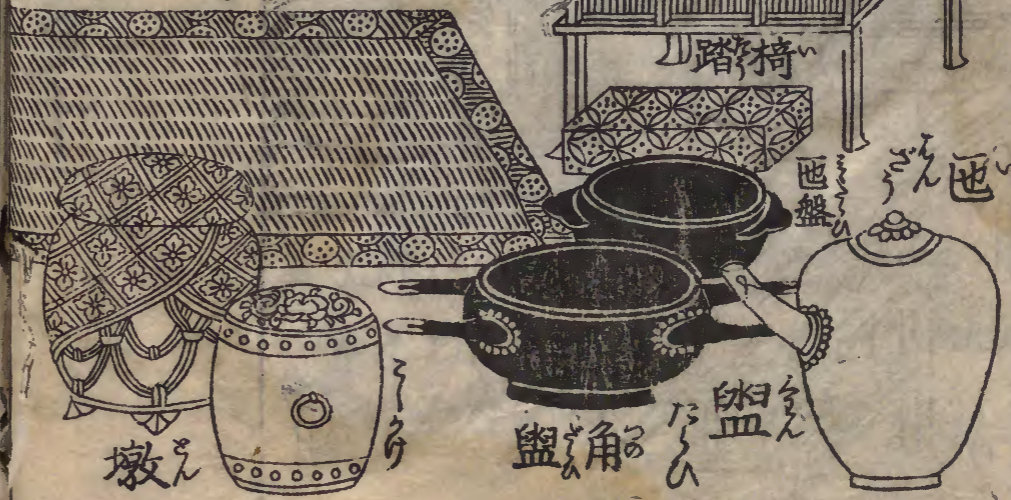
○鑷いづるあり鼻鑷
えりありありあり

○笄いづるあり髪小と具
かんて梳同根子つゝあり
○櫛いづるあり總名あり梳と

椅子



ひ席



鏡臺

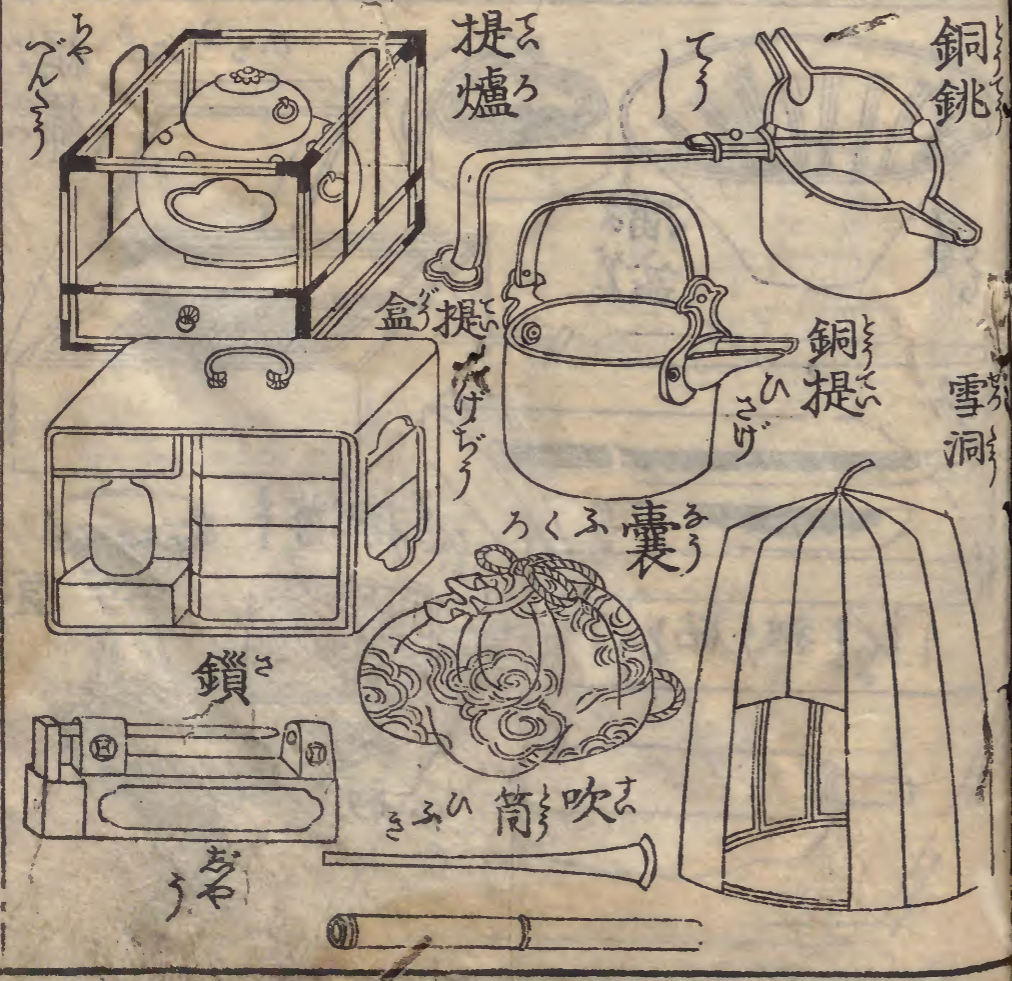


粉匣



鏡臺の鏡架もつゝ又
粧臺もつゝあり今按どる

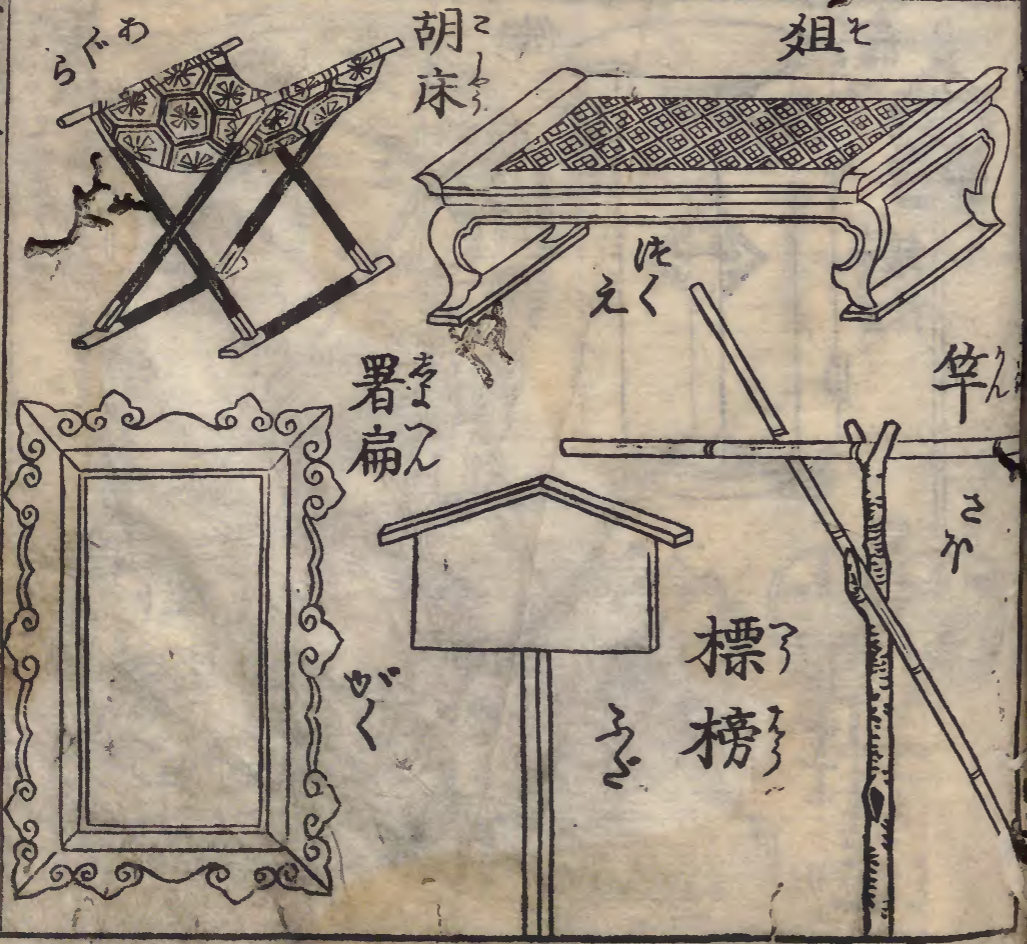
〇温壺のゆへ湯と入て
 足とわてひかりのかり今
 花瓶ふりらる
 〇解のゆへのさうさかり
 今花瓶ふりらる
 〇解のゆへ多り
 〇瓶のゆへのさうさかり
 唐音にさうさかりふとま
 今花瓶ふりらる
 〇壺のゆへさかり酒と入る
 のかり雲雷のゆへさかり
 〇鐺のゆへさかり耳足
 酒鐺樂鐺をかり
 〇漏才のゆへさかり酒と
 入るゆへさかり
 〇尊のゆへさかり酒と入る
 かる今花瓶ふりらる
 〇彝のゆへさかり酒と入る香
 爐とさかり
 〇筒のゆへさかり箱の通称をかり
 食物の衣類と入るゆへさかり
 〇洗古の盥洗のゆへさかり
 の器と俗とこれと飯銅といふ
 〇蓋ハ古の奈のゆへさかり
 かり奈綴とりのゆへさかり
 〇湯罐の湯と入るゆへさかり



頂書 神前圖 第十一

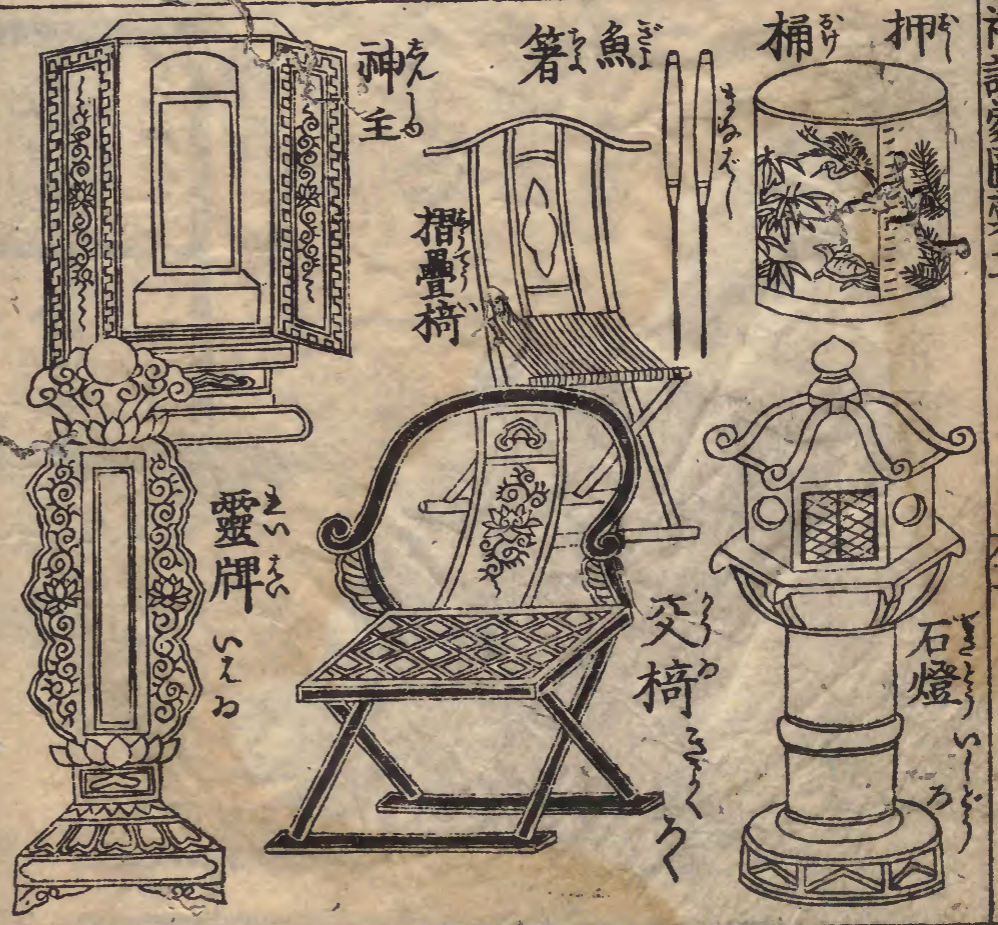
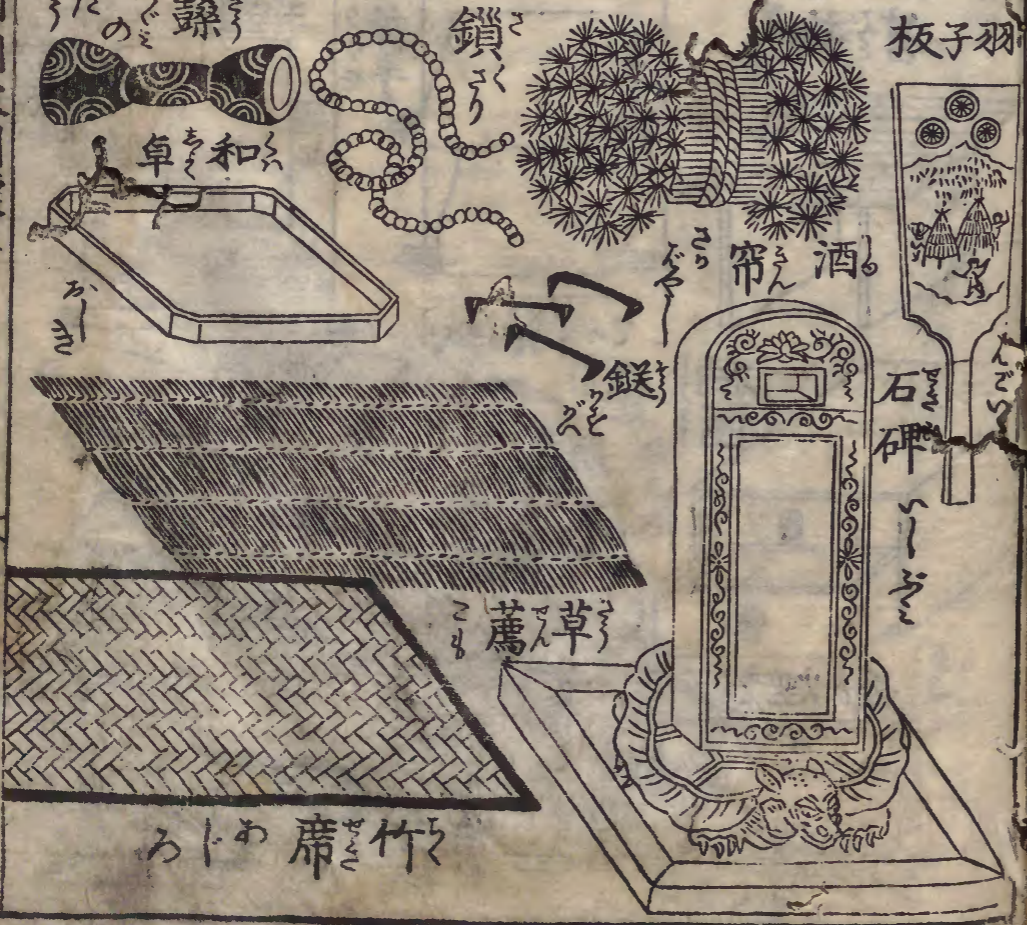
七

倭ふらうらとらふ
 ○ 鎌の葉カチりり草と
 るる具あり今いささきさ
 みふりしも
 ○ 碾り農具あり今新
 と粉ふと具ととらて素
 碾とも茶研ともいふ
 ○ 櫃ひつかり書物衣服と
 入りの多唐櫃半櫃長
 櫃あり
 ○ 櫛の厨子あり書厨あり
 ス衣厨といふもあり
 ○ 鑰の鍵鑑やびふ通ト
 りらもゆきあり
 ○ 帚の帚同條帚いさら
 らも掃帚いたけもに獨
 帚ありたなりと掃帚の
 とらりたあり
 ○ 檯の几案のこごひカキ
 食物の檯と飯檯といふ
 ○ 箱の篋匣より小同ト管
 とも書かり櫛のひと抽匣
 引いさ蓋いさか
 ○ 傘のひさしあり雨傘の
 わまの涼傘いひさし
 ○ 杖 鳩杖の鳩物いせ
 鳥かりより老人のおふ
 ひせぬとて杖のいさ
 に鳩のこらひさしと
 鳩杖といふあり
 ○ 蓋のいさしに車よふ
 ころのいさあり



○佛座蓮座多獅子
座須弥座荷葉座岩
座唐座等あり
○華鬘曼の西城の女首
のふり多ると瓔珞あり類
のめりあり
○錫杖の梵ふの隙葉
羅といふあり
○施の衣服といふものあり
ス衣打も衣架といふ
○本魚の本少鯨魚のまら
とつくり七の声のたつたふま
アよつて鐘と線といふ神を
ふりあり
○鈴の口金舌かち真言修
法の具あり

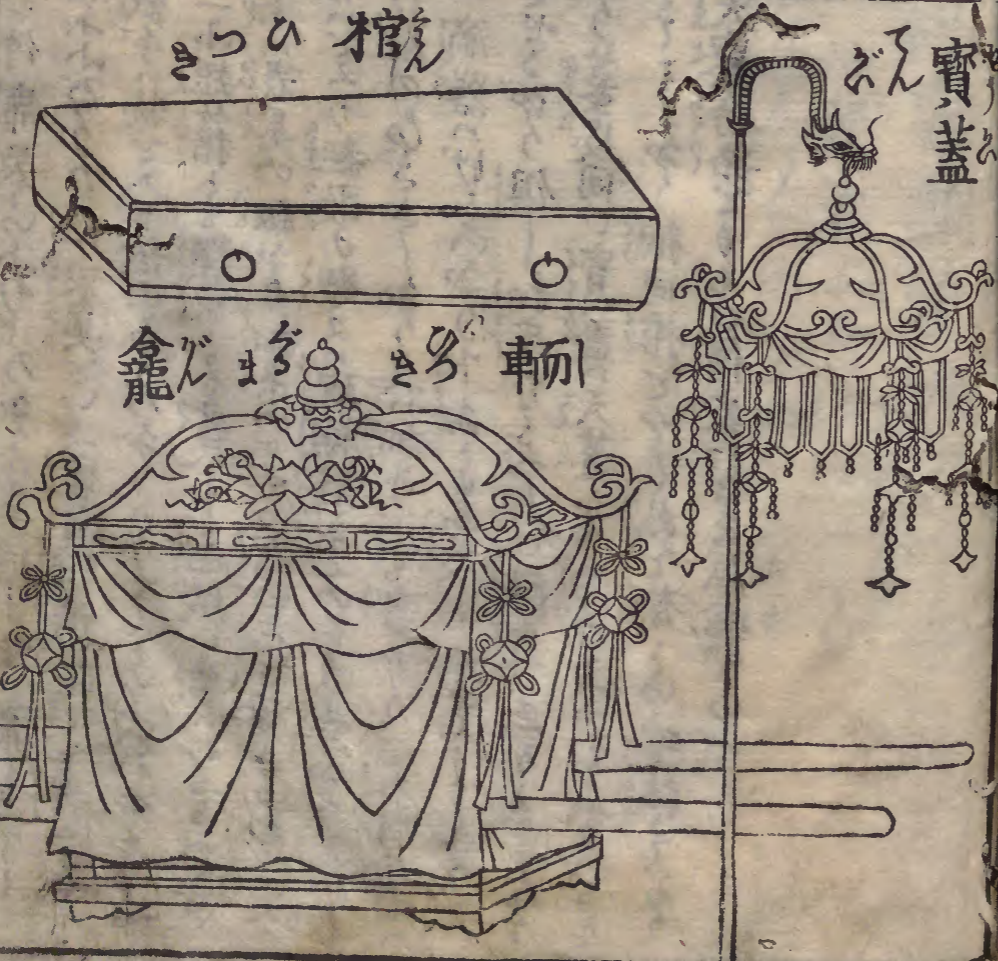
○杵の獨鉤三鉤五鉤の三色
ありこり小真言家の具あり
○手爐へえさる和尚上人
是と持して佛ふいふ
○數珠の念珠なり諸宗ふ
ありあり
○寶牒のわりのくち海中
の校尾螺とやあり法螺と
も梵貝ともいふ修験の家
ハ軍陣ふふく
○笛のちのわり山伏のあ
りのあり笈ともまへ
○押桶の産のとも胎衣を
入る桶ちのちがねふして
龜とまぐ
○石燈へ佛神のあふり



國書刊行所 神宮寺 圖彙 十一

又在家の水鉢の糸ふもろ
 いざうろ
 ○魚箸の糸ふもろ也魚箸著
 又肉箸とも書へ
 ○交持の今の曲録のこ
 と多し字未詳
 ○摺置椅のた曲録多
 ○神主の廟主多し儒者
 のいも多し神主のいも
 ふさやと積といふ
 ○靈牌の佛者のいもろ也
 かつらさほくろりあり
 ○石碑の墓所よろろ石
 塔多しいざうろ碑よ
 銘と書あり
 ○狛子板の正月小狛とろく
 のあり御懸板といふ
 ○酒席のいざうろやーか
 一小望子ともいふ酒望子
 といふとわやまろていざう
 といふ
 ○錠のいざうろかろと鉄を
 といふつる鉄同
 ○鎖のいざうろ多し鉄鎖銅
 鎖をいざうろ又銀鎖とも
 書へ
 ○録のいざうろあたら多し
 柄とも書あり
 ○和卓のいざうろあたまろく
 をいざうろあたらておを
 とも書あり
 ○草薦のいざうろあたら

又在家の水鉢の糸ふもろ
 いざうろ
 ○魚箸の糸ふもろ也魚箸著
 又肉箸とも書へ
 ○交持の今の曲録のこ
 と多し字未詳
 ○摺置椅のた曲録多
 ○神主の廟主多し儒者
 のいも多し神主のいも
 ふさやと積といふ
 ○靈牌の佛者のいもろ也
 かつらさほくろりあり
 ○石碑の墓所よろろ石
 塔多しいざうろ碑よ
 銘と書あり
 ○狛子板の正月小狛とろく
 のあり御懸板といふ
 ○酒席のいざうろやーか
 一小望子ともいふ酒望子
 といふとわやまろていざう
 といふ
 ○錠のいざうろかろと鉄を
 といふつる鉄同
 ○鎖のいざうろ多し鉄鎖銅
 鎖をいざうろ又銀鎖とも
 書へ
 ○録のいざうろあたら多し
 柄とも書あり
 ○和卓のいざうろあたまろく
 をいざうろあたらておを
 とも書あり
 ○草薦のいざうろあたら



頂上高野川...

ぼくおるるしりらありの竹席たけざとの今いまのわらわらあり箆へら同どう一いつ篋けつ席ざとも同どう一
 たうじりろの燈とう襦じゆのけ物ものふぶらうな表あは具ぐといふ道みち背せ燈とう補ほ繪えも書かかり
 ろうやとれと輪りん補ほといふ紙し手ての物ものといふ液えきのふらありとてんといふわらまら
 紙し綾あやといふと短たん冊ふみといふ短たん笥こも探たん策さくといふ書かべ一いつ色いろ紙しの要もとわらこの
 ゆかり一いつ鹿か同どうといふ啄たく木もくの表あは具ぐの紐ひもあり組くみ糸いとのくちら鳥とりの木きと啄たくもわら
 ふといふ啄たく木もくといふ柳やなぎ管くだといふ經きやう歌かの題だい又また硯えん翰はん冠かんといふと書かかり本ほんの敷しき
 丁てい半はんのころあり○抽ちゆう匣げふのしとあり又また抽ちゆう水すいといふ書かかり○土ど瓶びんの陶たう
 てはかり茶ちやと煮に器きあり○滴てき器きといふあり下げみといふ書かべ一いつ水すいといふあり
 ○煙えん盃はいといふといひきせるあり但たゞ一いつ和わ字じたぐ一いつ皺しわ皮かわといふあり
 刀たうのたぐ一いつのさあり墓む皮かわ同どう○寶ほう蓋がいの天てん蓋がいあり佛ぶつのうふありありのさ
 ○棺くわんといふあり死し人にんといふあり相あひ同どう棺くわんといふ外ほかと擲ちやくといふす法はふあり
 あり○輶い車しやあり今いま大だい聖せい竹ちやく格かくといふ僧そう家けといふと公こう籠ろうといふ

頭書増補訓蒙圖彙卷之十二

畜獸

此部こゝふい山さん野や人にん同どうといひ
 とはくくのけと物ものとあると

○麒麟きりんの仁獸にぶつあり
 賣う身しん牛ぎゆう尾び
 一角いつかくあり牡まと
 麟りんといひ北きたと
 麟りんといふ生せい虫ちゆう
 生せい草そうをふまど
 聖せい人にんの世よふ
 けつ獸ぶつ
 かの



頭書増補訓蒙圖彙卷之十二